

令和5年度 年間授業計画

都立田無工科高等学校

| | | | | |
|--|---------------------|------------------------------------|---|------|
| 教科・科目 | 工業 建築法規 | | 単位数 | 2 |
| 対象学年・組 | 3学年建築科 | 教科担任 | AA:大内 AB:大内 | |
| 教科書 ・ 副教材 | 建築法規 建築基準法令集 | | | |
| 1. 目標 建築法規を中心とする各種建築法規の基礎的な知識を習得させ、建築物の設計・施工・管理などを活用する能力と態度を育てる。さらに将来の2級建築士および2級建築施工管理技士受験に備え必要な知識を習得させる。 | | | | |
| 2. 学習内容と学習上の留意点 | | | | |
| 学期 | 月 | 単元 | 指導内容・指導目標 | 予定時数 |
| 1 学 期 | 4 | 単体規定(防火・避難規定、 建築設備規定) | 採光、換気、高さ、遮音、階段、廊下。各構造の種別規定、構造計算の方法を理解させる(各構造の理解と構造計算の意義、確認) | 4 |
| | 5 | 単体規定(防火・避難規定、 建築設備規定) | 採光、換気、高さ、遮音、階段、廊下。各構造の種別規定、構造計算の方法を理解させる(各構造の理解と構造計算の意義、確認) | 6 |
| | 6 | 単体規定(防火・避難規定、 建築設備規定) | 採光、換気、高さ、遮音、階段、廊下。各構造の種別規定、構造計算の方法を理解させる(各構造の理解と構造計算の意義、確認) | 8 |
| | 7 | 単体規定(防火・避難規定、 建築設備規定) | 採光、換気、高さ、遮音、階段、廊下。各構造の種別規定、構造計算の方法を理解させる(各構造の理解と構造計算の意義、確認) | 4 |
| | 1学期授業時数計 | | | |
| 2 学 期 | 9 | 建築手続きと各種関係法規 | 建築手続きのあらまし。建築士法、建設業法などの基本的事項を理解させる。(各種手続きの種類・方法。関連法規の理解) | 8 |
| | 10 | 建築手続きと各種関係法規 | 建築手続きのあらまし。建築士法、建設業法などの基本的事項を理解させる。(各種手続きの種類・方法。関連法規の理解) | 8 |
| | 11 | 建築手続きと各種関係法規 | 建築手続きのあらまし。建築士法、建設業法などの基本的事項を理解させる。(各種手続きの種類・方法。関連法規の理解) | 6 |
| | 12 | 建築手続きと各種関係法規 | 建築手続きのあらまし。建築士法、建設業法などの基本的事項を理解させる。(各種手続きの種類・方法。関連法規の理解) | 6 |
| 2学期授業時数計 | | | | 28 |
| 3 学 期 | 1 | 集団規定(都市計画法と土地利用、道路と敷地、密度・形態に関する規定) | 集団規定の目的。用途地域。道路と敷地の関係。建ぺい率、容積率の意義と計算。建築物の高さ制限、日影規制を理解させる(各種計算方法の理解) | 3 |
| | 2 | | | |
| | 3 | | | |
| 3学期授業時数計 | | | | 3 |
| 年間授業時数合計 | | | | 53 |
| 3. 評価の観点・方法 | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査の得点で学習の理解度を評価する。 ・授業態度、プリントやノートなど提出物について、授業の取り組みを評価する。 ・1、2学期は学習内容の理解度を7割、授業の取り組みを3割で成績をつける。 ・学年末は1、2学期の成績を踏まえて、総合的に4割以上で単位修得を認める。 | | | | |